

お話をします。

皆さんにクイズを出します。

この「夢に向かって ともにかがやく」は、学校のどこにあるでしょう。

そうですね。皆さんの教室の、黒板の上に飾ってあります。これは、芳川小学校の目標です。子供たちが夢に向かって、励まし合って、チャレンジする、そんな学校にしていこうという目標です。

皆さんは、夢を持っていますか。例えば、「サッカー選手」。いいですね。「漫画家」。これもいいですね。仕事ではなくてもいいですよ。「みんなの役に立つ人になりたい」、こんな夢もすてきです。

校長先生にも、小学生の時、夢がありました。ソフトボールをしていたので、野球選手になりたいなと思っていました。もう一つ夢がありました。テレビで、世界のことを紹介するクイズ番組を見るのが好きで、将来、外国で仕事をしてみたいなという夢ももっていました。

皆さんの中には、夢をこれから見つけようという人もいるかもしれません。もちろん、それでもいいと思います。人は、夢をもっていると、それをかなえるために、進んで努力し、勉強するようになるのだそうです。だから夢は、一つでなくてもいくつあってもいいんです。

では、夢の見つけ方を教えます。学校で習う勉強は、国語、算数、理科、社会、生活、音楽、図工、家庭、外国語、体育などたくさんありますね。まずは、どれも一生懸命やってみることです。やってみると、自分の得意な教科や好きなことが分かってきます。勉強することで、自分の持っているよさ、自分の大切な宝物が見えてきます。どんな人でも、それぞれ別々のすばらしい良さ、宝物を持っているのです。

ですから、「この勉強は苦手だから」といって、はじめからやる気を出さないのは、とてももったいないことです。勉強には無駄なものは何一つありません。今している勉強は、すべて皆さんの未来につながっているのです。

さあ、新しい学年がスタートします。いろいろな勉強に進んでチャレンジしてみましよう。そうすれば、自分の宝物に気づき、自分の夢につながります。

皆さんのこの1年のチャレンジを応援しています。

これで、校長先生のお話を終わります。